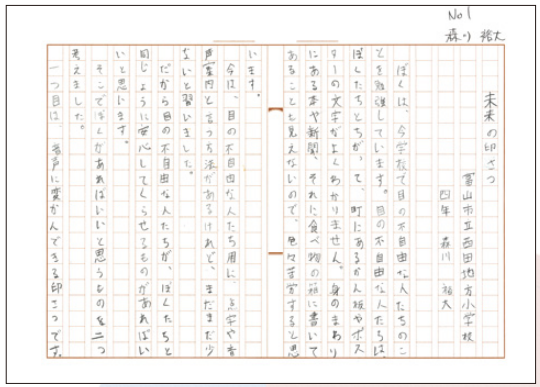
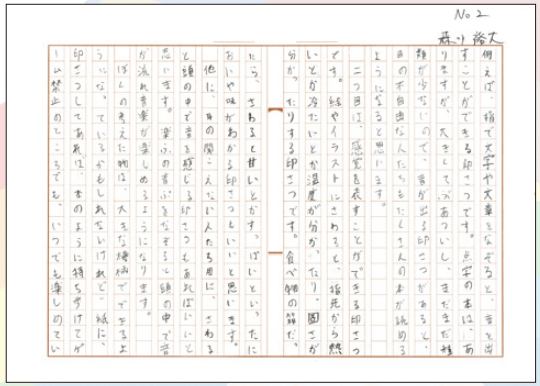
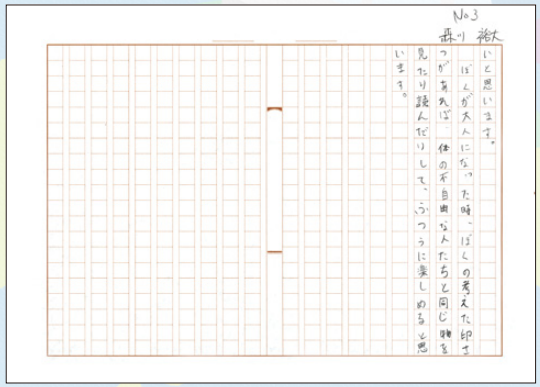






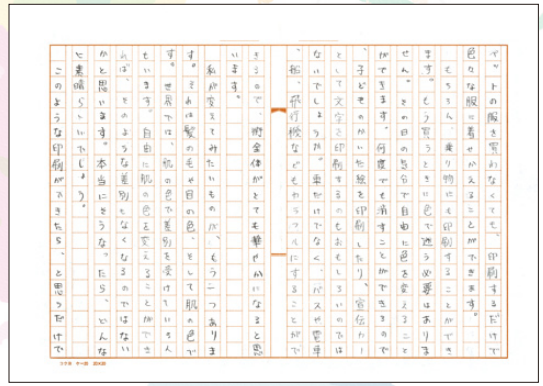
【小・中学生部門】
「作文」最優秀賞

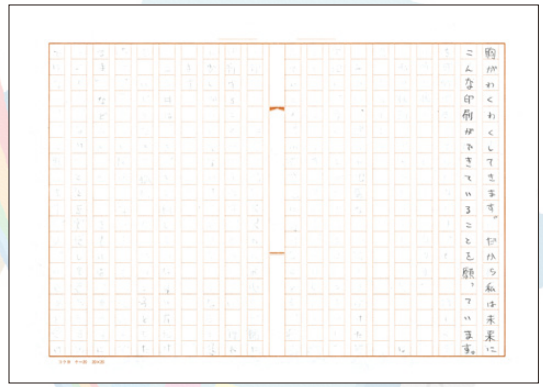
未来の印刷
森川　裕大さん　10歳

【審査員コメント】
・終始一貫して、障害者の方たちの生活を未来の印刷技術で救いたいという優しい気持ちが伝わる内容。印刷を通した社会貢献の方法と視点のあり方に心が動かされる。

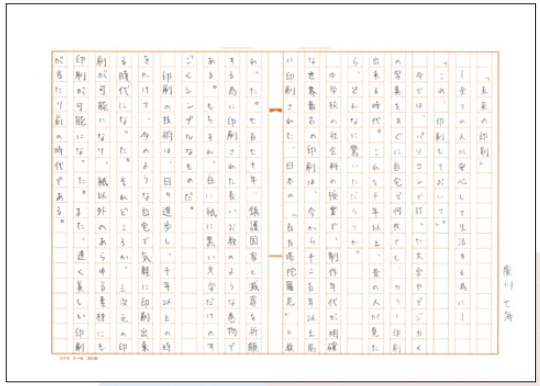
【小・中学生部門】
「作文」優秀賞

未来の印刷
伊藤　愛理さん　13歳





【審査員コメント】
・印刷が日常生活に「わくわく感」や「楽しさ」をもたらすことができるという発想がとてもユニークでした。また、後半に書かれていた「肌の色を印刷で変える」という点はとても自由で子供らしい考えで、審査員一同思わずにっこりしてしまい明るく楽しい作品でした。



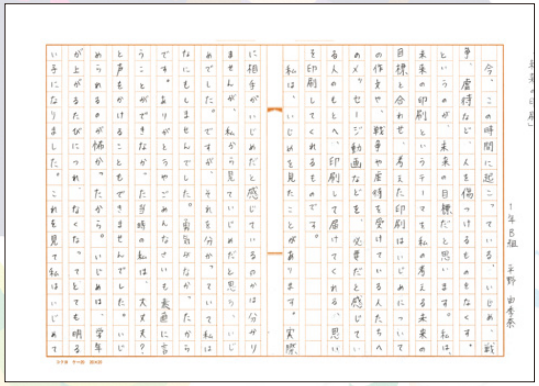
【小・中学生部門】
「作文」審査員特別賞
（日本印刷新聞社賞）

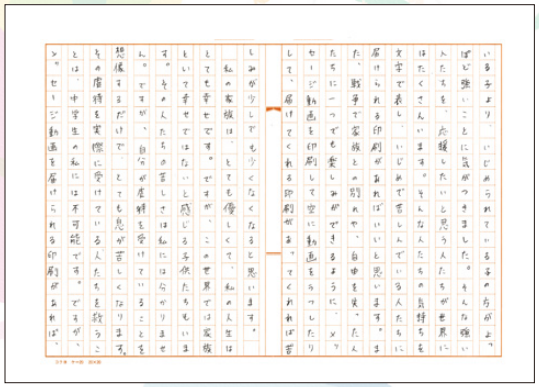
未来の印刷
廣川　七海さん　13歳

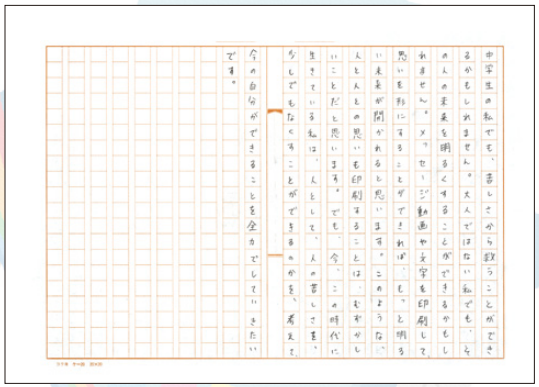
【審査員コメント】
・すべての人が安心・安全に生活できる手段としての印刷の姿を、過去の印刷と現在の印刷を正しく理解した上で中学生らしい問題意識と発想力で考えてくれました。文章力も素晴らしいと思います。

【小・中学生部門】
「作文」審査員特別賞
（印刷出版研究所賞）

未来の印刷
平野 由季奈さん 13歳



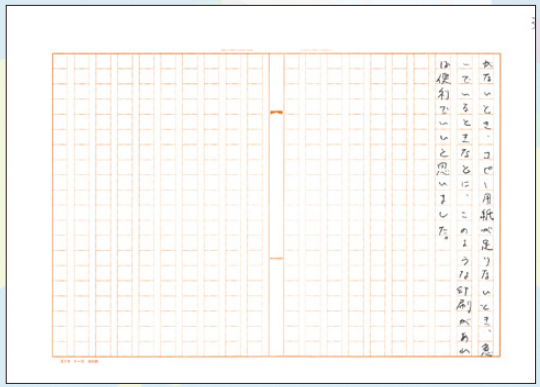




【審査員コメント】
・作品全体に「相手（他人）を思いやる優しい気持ち」があふれていて、温かい気持ちにさせていただきました。印刷は伝えるという役割だけでなく「平和」や「安心」さらには「正義」の為にも存在している事を改めて感じさせてもらった気がします。

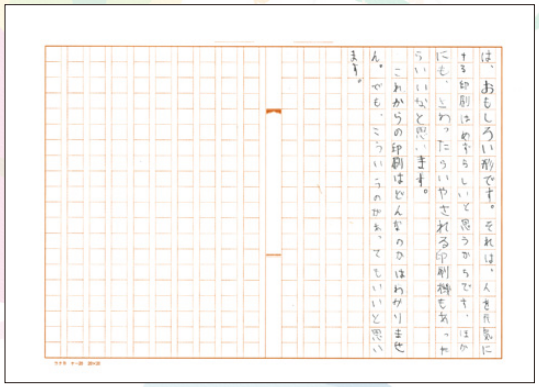
未来の印刷

伊藤　綾乃さん　13歳



未来の印刷

宇城　奏子さん　12歳



未来の印刷

岡村　美里さん　13歳

「未来の印刷」ってなんだろう。楽しい印刷、ってなんだろう。これからどんな印刷ができると便利な生活ができるのだろう。考えてみるとたくさんアイディアがうかんできます。その中から私があったらいいなと思う印刷を三つ選びました。

一つ目は持ちはこびできる印刷です。今の印刷機はとても大きくて重たいので、持ちはこぶことはできません。なので携帯電話のように小さくて持ちはこびしやすい印刷機ができれば「印刷」をも。とたくさんの人が利用できるようになると思います。どこでも印刷ができるようになればとても便利になると思います。

二つ目はうDの印刷です。最近ではうD味噌やうDテレビなども人気です。飛び出る印刷ができるようになればとても楽しくなると思います。例えば、飛び出る絵本や紙しばいができれば小さい子供たちも喜こぶと思います。学校の授業でも利用されるようになれば

岡村美里

とても役かりやすい授業になると思います。そして、たくさんの人が「印刷」について興味をもってくれるようになるんじゃないかなと思います。

三つ目は頭で考えたこと思ったことをすぐに印刷できるということです。こんな印刷ができれば機械が苦手というんでも簡単に印刷ができるようになると思います。耳が不自由な人とも「印刷」を使って会話ができるようになれば便利になると思います。

こんな夢のような印刷ができれば等日が印刷中心の生活になり、楽しくてたまらなくなると思います。身のまわりにはどんな印刷が見てみると、本や新聞、教科書、ノートなどのたくさんの印刷がありました。もし、印刷がなければと思うと印刷、てすごいなと思います。印刷のない世界を想像してみると印刷がどれだけ便利か改めて感じました。

「未来の印刷」それは「未来の世界」を創造することといえ、しゅだと思います。印刷で

岡村美里

未来が変わるといってもいいんじゃないかなと思います。そして、これから先どのように未来が進化していくのか、どのような世界になっていくのかとても楽しみです。

岡村美里

過去から未来へ

加藤　圭乃さん　13歳

1

みなさんならどんな「未来の印刷」を考えますか。今のままでも良いと思う人、も、となると思います。その中でもわたしは今まであった事を振り返り「未来の印刷」を考えたいと思います。

今の日本には「戦争」というものはなくとも平和です。しかし、それはわたし達の祖先が平和を築きあげていったので今が平和に過ごせているのです。

わたしは印刷も同じような事だと思います。祖先の人々がより良いものを考え、造りだしてくれたから今、こうして生活できていると思います。だから、これからはわたし達の番です。

わたしは初め「何を書こうかな」と迷っていました。そこで過去の事を振り返って考えてみる事にしました。

まず一つ目は「音声付きの印刷」です。パソコンや手書きで文字を書き、コピーすると

加藤　圭乃

2

相手が読むときに話してくれるものです。これならお年寄や目が不自由な人、小さな子供でも手紙を読む事ができます。

二つ目は「うD印刷」です。最近、はやっているうDを使い写真や絵などをふれる事のできるくらいの印刷物をつくりあげる事ができれば過去の思い出をより間近に感じる事ができるし、文字だけでは伝わらない事も伝える事ができます。

三つ目は「絵や写真だ」た物が本物の物体になる印刷」です。絵や写真の物がコピーすると本物になるというものです。こんな事ができれば自分だけのオリジナルの物をつくることもできるし、雑誌などにのっている服や小物をつかうことができます。

わたし達が今、この世界で平和になに不自由なく生活できているのは、祖先のおかげだという事を忘れず、これからはわたしたちがこの世界をも、とより良いものにしていくという自覚をも。て生きていければいいと思い

加藤　圭乃

3

ます。そして、印刷だけにかぎらず他のものにもたくさんの色々なアイデアを出し、日本をより良いものにしていけたらいいと思いました。

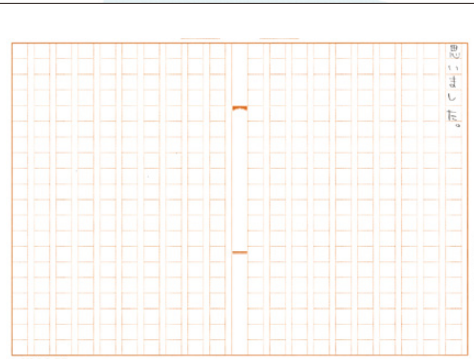
加藤　圭乃

独創的印刷

加藤　早紀さん　14歳

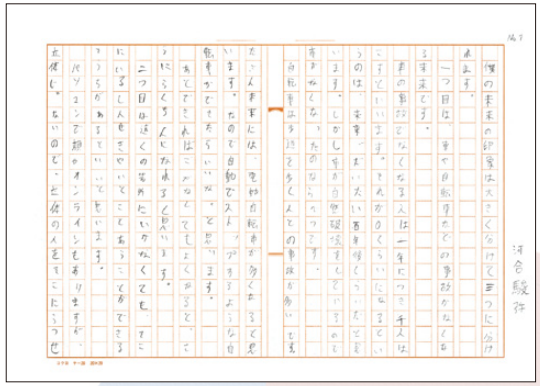
未来の印刷

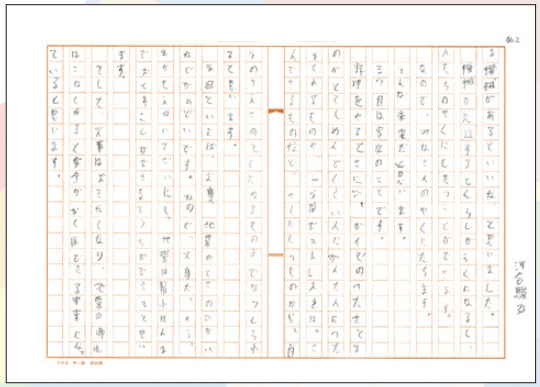
加藤　優奈さん　13歳

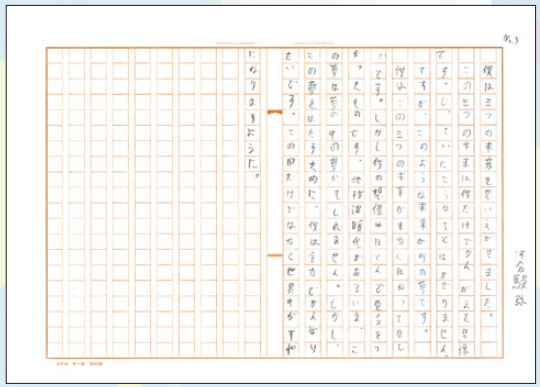


僕の考える三つの未来

河合　駿弥さん　12歳

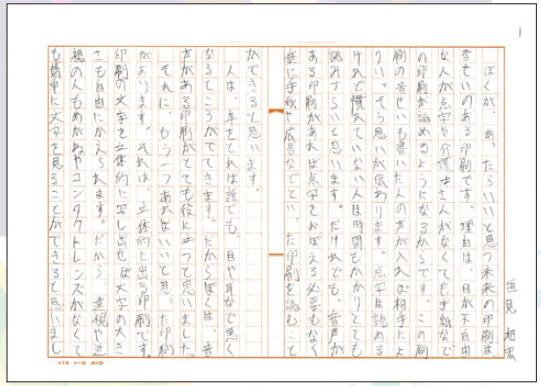


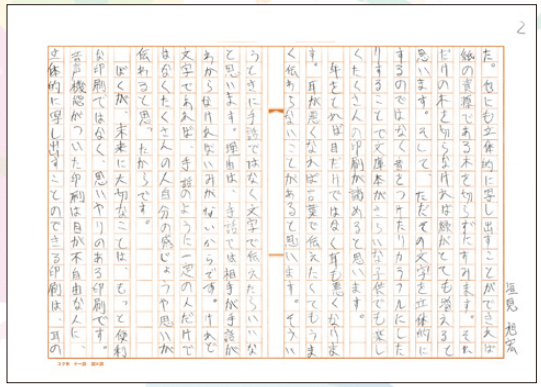


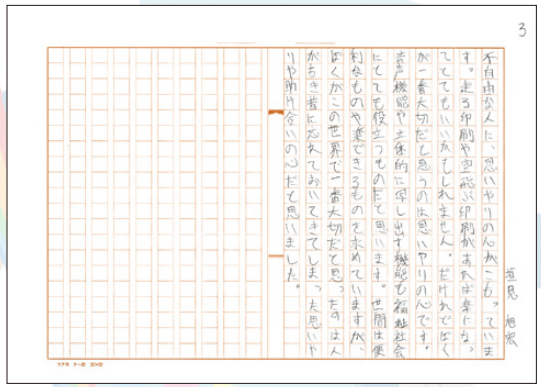


未来の印刷

垣見　旭宏さん　13歳

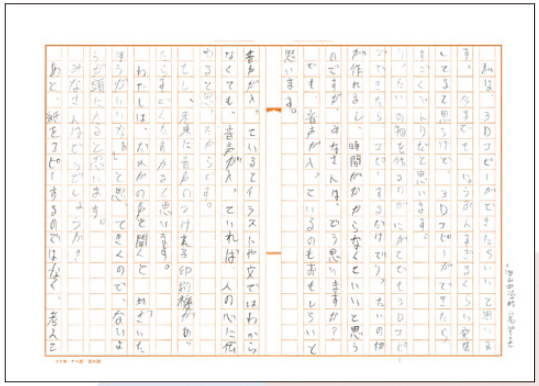


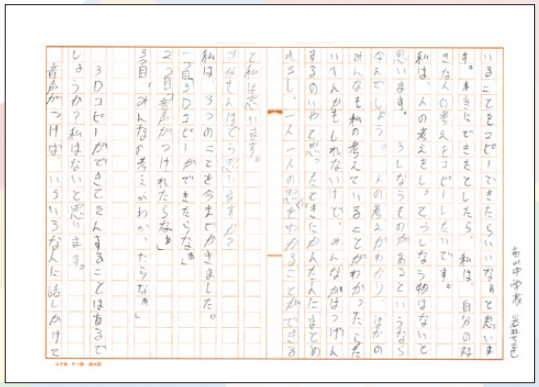


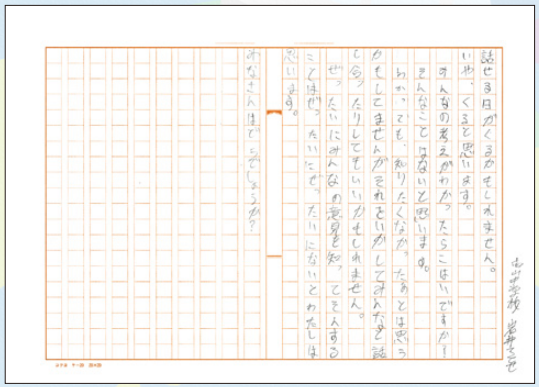


こんな印刷ができたらいいなぁ

岩井 ちとせさん 12歳

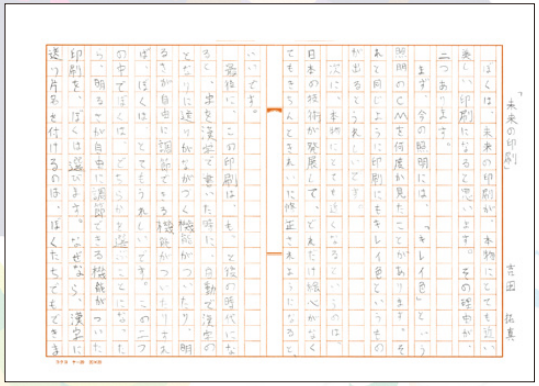


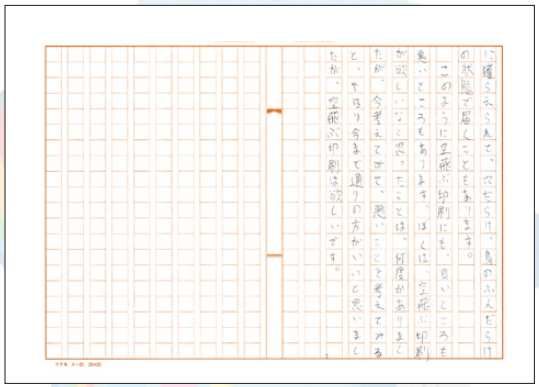




未来の印刷

吉田　拓真さん　12歳





未来の印刷

堺　洸太さん　10歳

ぼくは、「未来の印刷」ということについて考えたときに、一番にうかんだのが、「動画がみれたり、音が聞こえたりする教科書」というものでした。なぜ、それが一番にうかんだのかを考えてみたら、ぼくが社会を今年生になって好きになった理由と同じでした。

ぼくは、もともとは、中学生になるという教科が全くすきではありませんでした。ですが、5年生になってから、先生が変わって、そのたんにんになった先生が、とても機械が好きでいつも授業にiPadを使ってきてくれて、コードでプロジェクターにつないで、動画などをユーチューブでみせてくれたり、パソコンを使ってただデジタル教科書で、スクリーンで動画を見せてくれたり、大きなグラフを出してくれたりしてくれたので、わかりやすくて、ぼくは社会が好きになりました。

なので、本や新聞、ざっし、教科書などの印刷物も、絵が動くようになったりしたら、ふ上りしたりもっともっとおもしろくなると思います。それからいろいろな案を出して考えた結果、もう一つ良いのが有ったのでこれも書いておこうと思います。2つ目は、「書いてあることが本当に起こる」ということです。

なぜそう考えたかというと、ぼくは、いろいろと遊びたい人なので、テーマパーク（つまりにディズニーやUSJ）が好きで、ガイドブックなどをよく図書館などで借りて読んでいます。そのときに、「いきたいな～」と思うときがあります。なので、本当にいけたらとてもうれしいです。きれで、ぼくは「ぼくらの七日間戦争」という本を読んで自分もやってみたいと思ったからです。

ぼくは、未来の印刷は絵が動くようになると思います。なので、印刷が動くようになるいせ、どうすればいいか、自分も考えてみようと思います。

私の夢の印刷技術

権名津 美侑さん 12歳

私の夢の印刷技術

権名津　美侑

私の想像する未来の印刷物は、画像だけではなく、動画を再生して見ることもできます。それが実現すると、テレビや携帯電話などの電気屋さんで売っているものが、印刷で作ることができるようになります。印刷で作ることができたら、いいことが、三つもあります。

一つ目は、使い勝手がいいことです。もともとは紙でできているので、折ったり、丸めたりできて、自由自在です。金属よりも軽いので、持ちはこびもらくらくで助かります。

二つ目は、資源の節約ができることです。木から作ることができるので、今まで作っていた金属などは、他のことのために使うことができます。木も、私たちになくてはならないものなので、あまり使いすぎはよくないけど、今よりは資源を大切に使うことができると思います。

三つ目は、安く買えることです。紙の方が断然安いので、子供のおこづかいでも買えるようになるかもしれません。いまより、もっとたくさんの人が、使えるようになったらうれしいです。

テレビや携帯電話以外でも、印刷した写真が本当にそこにいるように動いていたら、ワクワクします。例えば、新聞の写真が動いていたら、その時のことがよくわかって、新聞をあまり読まない人も興味がわくと思います。私は読書が大好きなので、本のさし絵も動いたら、どんなに楽しいだろうなあと想像します。好きな主人公の絵が動きはじめたら、読むのがもっともっと楽しくなるので、すごくうれしいです。

紙で動画を再生することができたら、いろんなんの役に立って、いろんなんがうれしくなれると思います。私が生きているまでに、そんなことが現実になっていてほしいです。

夢の印刷

五十嵐 泉樹さん 13歳

夢の印刷

五十嵐　泉樹

ぼくは、未来の印刷について考えました。今でも、あたらしい印刷はいっぱいあるけれど、もっとこんな印刷があったらいいなあと、便利だと思う物を、いくつか紹介したいと思います。

まず、においが味がわかる印刷です。たとえば、レストランのメニューで、「これとこれ、辛くないよ」というとき、役立ちます。注文する前に「ああ、こういう味かー」というのがわかるからです。

もうかたつは、その文字をさわると、本が読んでくれる印刷です。「この漢字わからないなあ」というとき、辞書を使わずに、さわるだけで音読してくれたり、好きな人の声で読んでくれる機能もあったらいいと思います。

また、今でも、キラキラする印刷物があるけれど、印刷した写真が動いたり、いろいろな映像が出てきて商品の紹介を、くわしくしてくれたら、いいと思います。

また図鑑の印刷なので、「この動物に触ったらどんなだろう」というとき、印刷面に触ると、チクチクしていたり、ザラザラしていたり、モフモフしていたりすると、「ああ、触ったらこんな感覚なんだ」となって、いいと思います。

今度は、未来の印刷機に、「こんなのあったらいいなあ」というのを考えてみました。

まず、描いた絵を印刷機でコピーすると、ID になったり、絵が動いたりすると、おもしろいと思いました。

それから、生活も印刷できたらいいと思います。たとえば、家具に直接、好きな柄を印刷できたらおもしろいと思います。もようがえしたいとき、かんたんに自分の好きな部屋にできます。こもう柄が好きなこもう柄、スイーツ柄が好きなら、家具や壁紙にケーキやジュースを印刷するのです。こもう柄のタンス、シマウマ柄のクーラー、サバンナの柄の壁紙。そんな部屋が作れるようになります。家具だけではなく、筆箱やカバン、水筒などあきたときは、ほかの柄に印刷できたらいいと思います。

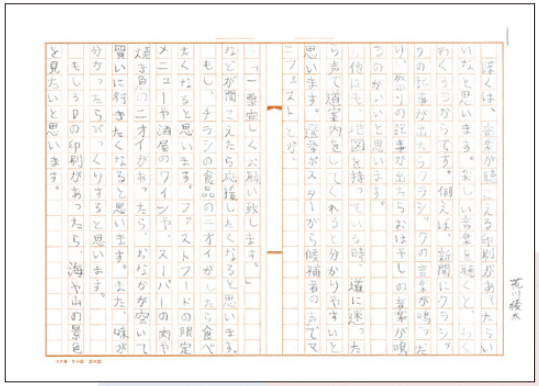
このような印刷が本当にできたら、もっと楽しい毎日が送れるようになると思います。

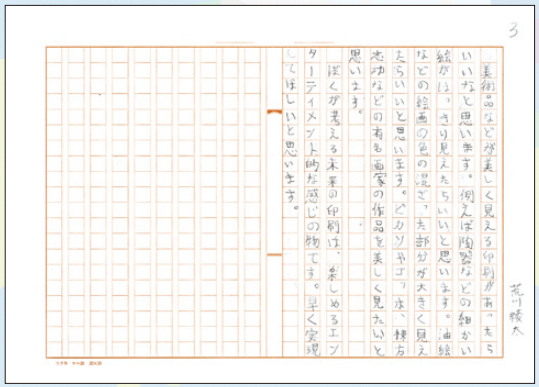
未来の印刷

江上　玄武さん　12歳

新しい印刷

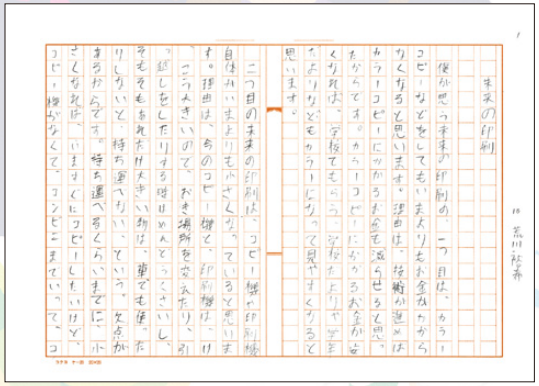
荒川　綾汰さん　12歳

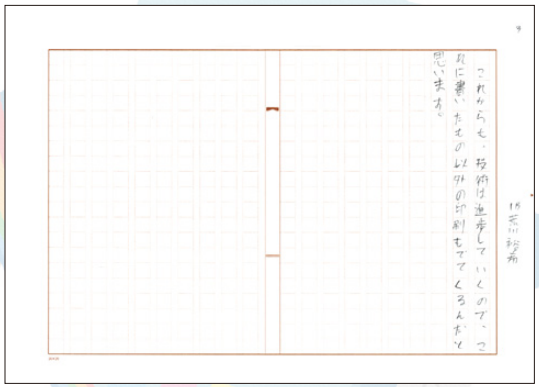




未来の印刷

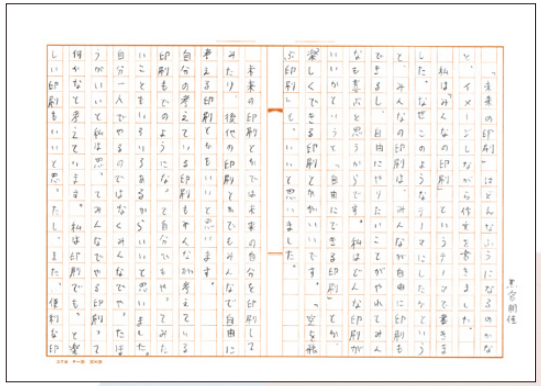
荒川　裕希さん　13歳

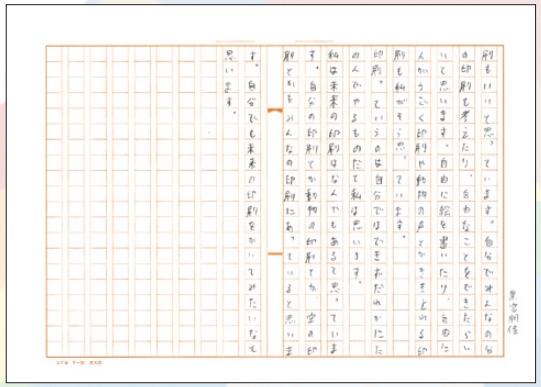




みんなの印刷

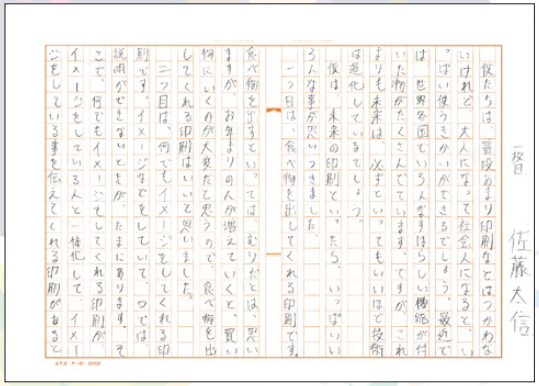
黒宮　朋佳さん　13歳

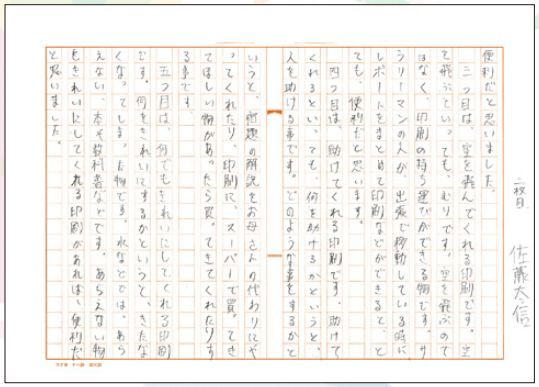


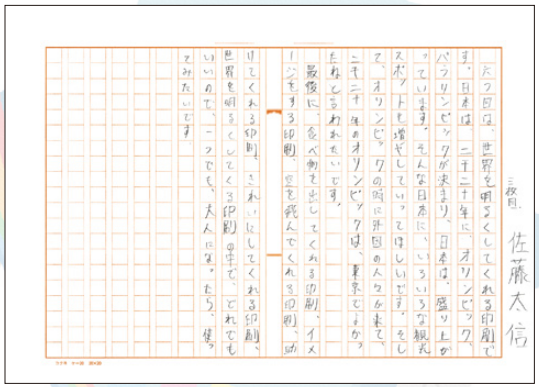


未来へとつながる印刷

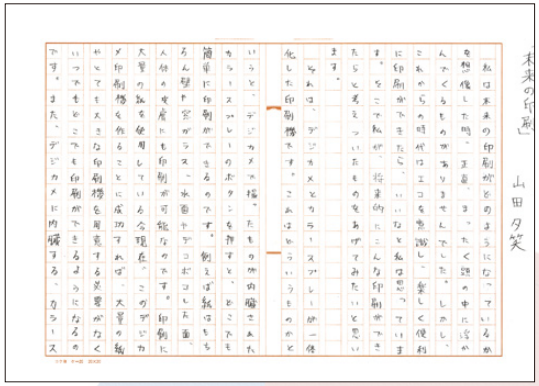
佐藤　太信さん　13歳

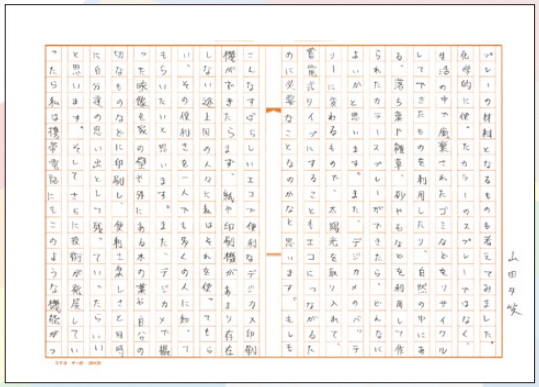


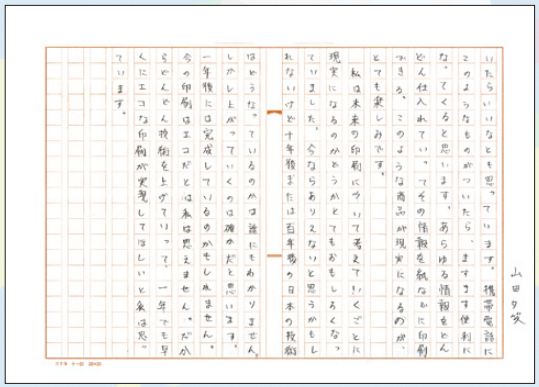




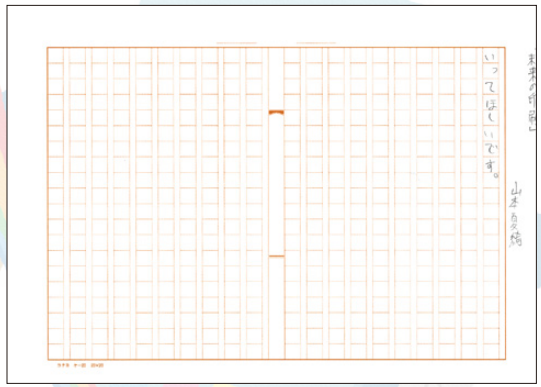
未来の印刷
山田　夕笑さん　13歳





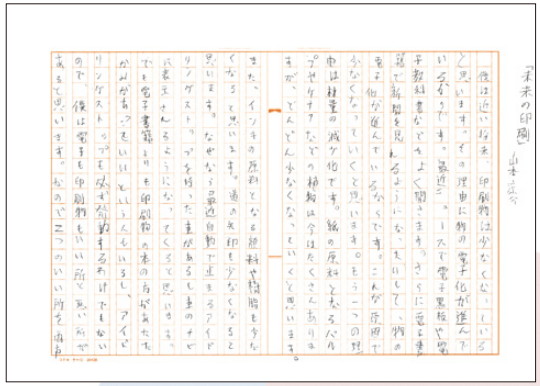


未来の印刷
山本　夏綺さん　13歳



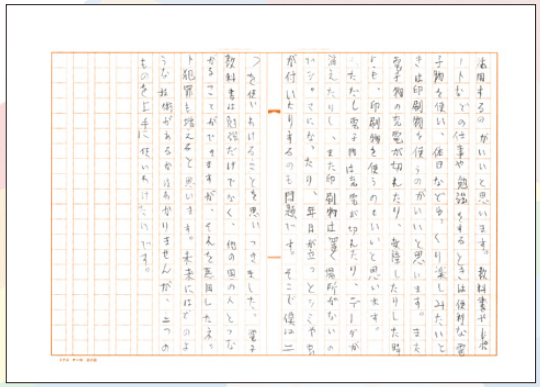
未来の印刷

山本　涼介さん　13歳



「未来の印刷」　山本涼介

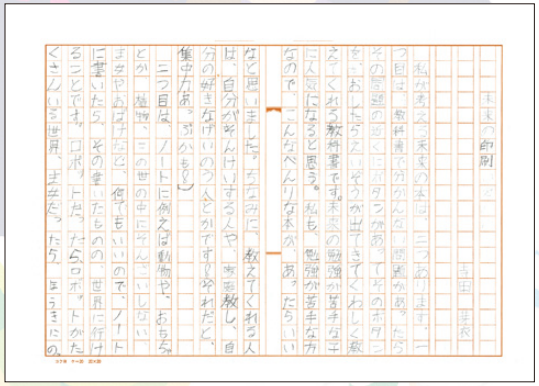
僕は近い将来、印刷物は少なくなっていると思います。その理由に物の電子化が進んでいるからです。最近こ、1人で電子黒板や電子教科書などでよく聞きます。さらに電子書籍で新聞を見れるようになったりして、物の電子化が進んでいるからです。これから世界で紙がなくなっていくと思います。もう一つの理由は経費の減少化です。紙の原料となるパルプ製作するなどの作業は今はたくさんあります。が、どんどん少なくなっていくと思います。また、インキの原料となる原料や顔料も少なくなると思います。なぜなら最近自然で採れるアイドリングストップを始めた車がふえてくると思います。でも電子書籍よりも印刷物の本の方が気がたかがあっていいと思いますし、アイドリングストップでも分離する方法でもないので、僕は電子も印刷物もいい所で悪い所があると思います。なぜ2つのいい所を両立



活用するのがいいと思います。教科書や長ポートなどの仕事や勉強をするときは便利な電子物を使い、休日などゆっくり楽しみたいときは印刷物を使うのがいいと思います。また電子物の充電が切れたり、故障したり時は、印刷物を使うのもいいと思います。ただし電子物は充電が切れたり、データが消えたりし、また印刷物は置く場所がないのいやすくなったり、毎日紙をとってやもが付いたりするのも問題です。そこで僕は二つを使い分けることを思いつきました。電子教科書は勉強だけでなく、他の国の人となかよくすることができますが、そんな悪用したえ、ハッカー犯罪を増えると思います。未来にはどのような社会があるかはわかりませんが、2つのものを上手に使いわけたいです。

未来の印刷

寺田　芽衣さん　10歳



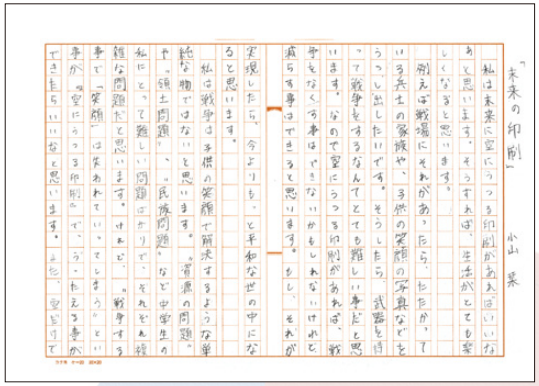
未来の印刷　寺田芽衣

私が考える未来の本は、二つあります。一つ目は、教科書で分からない所、質問が出たらその質問の近くに分ダンがあって、その分ダンをおしたらえいそうが出てきてくわしく教えてくれる教科書です。未来の勉強が苦手な子にぴったりなると思う。私も、勉強が苦手な方なので、「こんなべんりな本があったらいいなと思いました。ちなみに、教えてくれる人は、自分が好きなげいのつよとかです。(例えば、集中力あるぞ、ぶかもの)

二つ目は、ノートに例えば動物や、おちゃとか、植物、この世の中にそんざいしないまぼろしなどを、書いたものの、世界に行けることです。ロボット、たんぽロボットかたくさんいる世界、まほうだったり、ようきにのびずを飛んだり、まほうをつかったりする世界、いろんな世界に行きたいです。私たちおもちゃの世界に行きたいです。おもちゃたちとおはなしとかしてみたいです。あと、そのノートは、ただのノートじゃなく、特別なノートじゃないとだめなんです。それは、ちょうがたくさんこもったノートです。自分の一番仲がいい友達と手作りで作ったノートじゃないとだめなんです。こんなべんりでワクワクな楽しい、私が考えたこの2さつの未来の本が実げんしたらとてもうれしいです。

未来の印刷

小山　栞さん　13歳

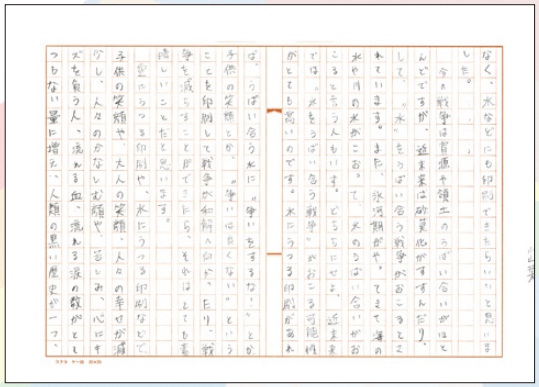


「未来の印刷」　小山　栞

私は未来に空にうつる印刷があればいいなと思います。そうすれば、生活がとても楽しくなると思います。

例えば戦場にそれが出たら、たたかっている兵士の家族や、子供の笑顔の写真などをうつし出したいです。そうしたら、武器を持って戦争をするなんてとても難しい事だと思います。なので空にうつる印刷があれば、戦争をなくす事はできないかもしれないけれど減らす事はできると思います。もし、それが実現したら、「今よりも」と平和な世の中になると思います。

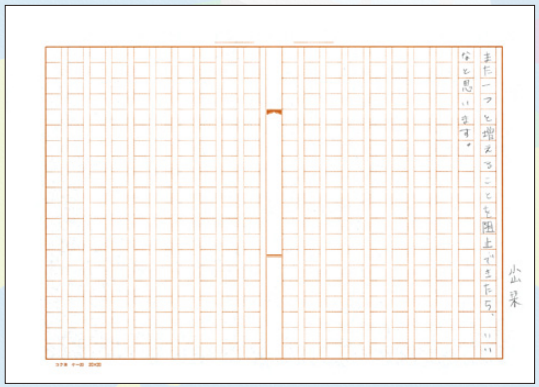
私は戦争は子供の笑顔で解決するような単純な物ではないと思います。"資源の問題"や"領土問題"、"民族問題"など中学生の私にとって難しい問題はたくさんあります。それぞれ複雑な問題だと思います。けれど、"戦争"は"笑顔"は失われていくものです。そこで、「う、う、うつる事が出来ない」と思ってしまう。



なく、水などにも印刷できたらいいと思います。

今の戦争は資源や領土のうばい合いがほとんどですが、近未来は砂漠化がすすんだり、して、"水"をうばい合う戦争が起こることもあります。また、氷河期がやってきて海の水や川の水がこおる。「水のうばい合いがおこる」ということもあります。どうなるかは、近未来では"水をうばい合う戦争"がおこる可能性がとても高いのです。水にうつる印刷があれば、うばい合う水に"争いをするな!"とか子供の笑顔とか、"争いはよくない"という事も印刷して戦争が和解へ向かう。だから、戦争を減らすことが出来たら、もやはとても素晴らしいことだと思います。

空にうつる印刷や、水にうつる印刷などで子供の笑顔や、大人の笑顔、大人の幸せが増やし、人々のかなしむ顔や、苦しみ、心はずむ負う人、流れる血、流れる涙の数がとてもつもない量に増え、人類の黒い歴史がつづく



また一つと増えることを阻止できたら、いいなと思います。

小山　栞

未来の印刷

松原　悠真さん　15歳

未来の印刷

松原　悠真

僕が思う未来の印刷、それは、毎の印刷機です。毎の印刷機と言えば、あなたはどう考えるでしょう？

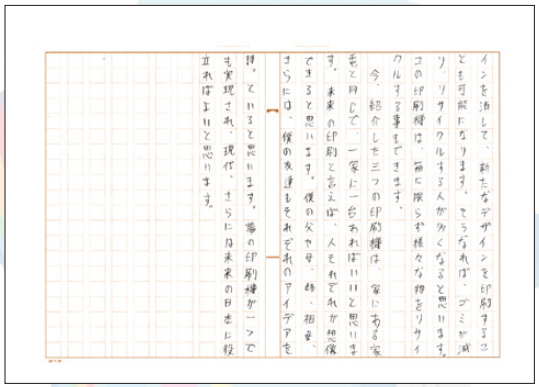
僕は、いくつか考えが浮かんでいます。今回は、その考えを紹介したいと思います。

一つ目の印刷機は、「自分の未来が印刷される印刷機」です。「自分の未来」それは誰もが一度考えたり、思ったことがあると思います。未来が印刷される印刷機は、ワクワクする反面、作りたくないという気持ちが生まれます。なぜなら、未来を見てしまうと、「自分はこんな生活をしているんだ」と思うと思います。幸せな生活が印刷される人や、幸せになっていない生活が印刷される人も出てきてしまうと思います。ですが、未来を見れば、今の生活を継続すればいい人や、改善しなければいけないんが出て、未来の生活が改善され、幸せな生活を送れる人が増えていい

と思います。

二つ目の印刷機は、「自分が考えていることがそのまま印刷される印刷機」です。この印刷機は、人間の脳から直接考えていることを読みとり印刷するという物です。例えば、この印刷機を警察署で使うとします。そうすると、なかなか真相を受け明けない犯罪者がいても、すぐに考えを読みとり真相を知ることができます。また、周囲者がいたら、逮捕できるし、事件の早期解決にもつながると思います。このようにして使うと、日本の治安を守ることができ、日本はもっといい国になると思います。

三つ目の印刷機は、「リサイクルを兼ねた印刷機」です。生活の中で、いらない箱などがあると思います。その箱を多くの人が使してしまうと思います。ですが、この印刷機は箱を産さず、箱本来の姿のまま、また新しい箱として生まれ変わらせることが可能になります。さらに、その箱に印刷されているデザ

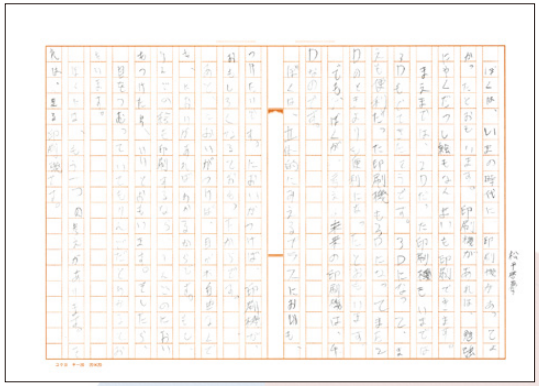


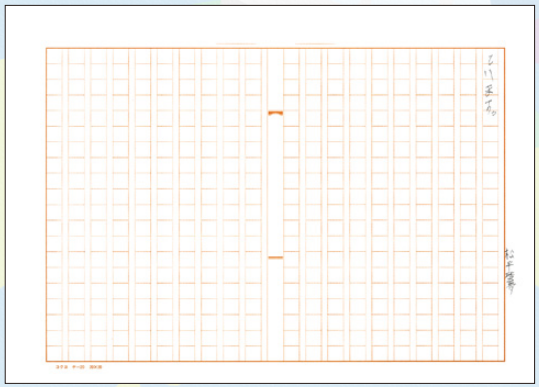
インを通して、新たなデザインを印刷することも可能になります。そうなれば、ゴミが減り、リサイクルする人が多くなると思います。この印刷機は、箱に限らず様々な物をリサイクルする事もできます。

今、紹介した三つの印刷機は、一家に一台ある家電と同じで、一家に一台あればいいと思います。未来の印刷と言えば、人それぞれ夢が想像できると思います。僕の父や母、姉、祖母、さらには、僕の友達もそれぞれのアイデアを持っていると思います。毎の印刷機が一つでも実現され、現代、さらには未来の日本に役立てればよいと思います。

未来の印刷機

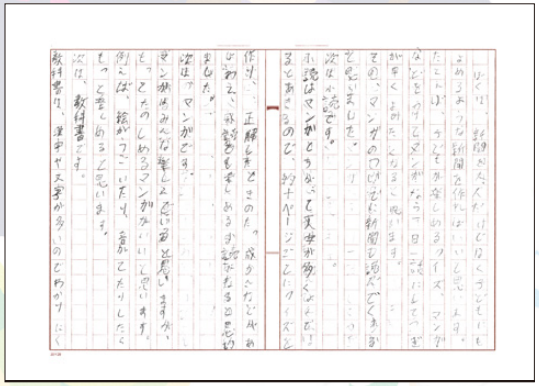
松平　啓夢さん　12歳

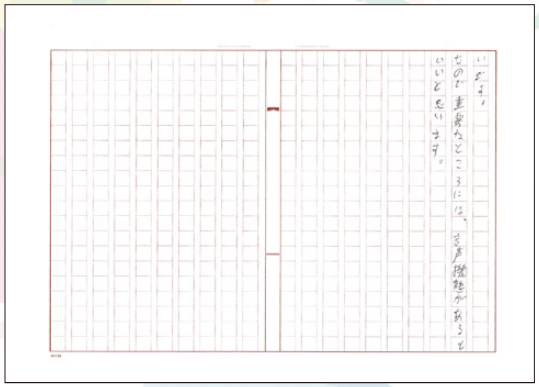




未来の印刷

水谷　翔さん　12歳





みんなの空に印刷!!

星野　美香さん　13歳

未来の印刷

星野 美香

私は、空にいろんな印刷がしたいです。空は、なにげなく見て「キレイ」と思います。空は、なやんでいたりした時に見ると「この大空に比べて、私のなやみなんて小さい」と、プラス思考になれます。だから私は、こんなステキな空を、もっと、もっと、もっと、ステキにしたいです。

空に印刷をして、やれたらいいことが六つあります。

一つ目は、争いやケンカがなくしたいです。もし、争い中やケンカ中に、たくさんの笑顔をした人たち、仲良く・楽しそうに遊んでいる子どもたちを印刷した、空を見た時は、きっと手がとまり、考え直すと思います。

二つ目は、雲り空の時に、晴れた空を印刷したいです。空が雲りだと、なんだか心まで曇ってしまいます。だから、晴れた空を印刷して、心も晴天にしてほしいです。でも、晴れた空の印刷で、かさを忘れてしまいそう。

三つ目は、星をもっときれいにしたいです。今の時代、夜でも町は明るいです。だから私は、町が明るすぎてなかなか、見えない星を印刷し、たくさんの星を見たいです。

四つ目は、何かお祝いの時のサプライズです。例えば、友達のたん生日の時、空に「おたん生日おめでとう!」と、印刷して、ビックリさせたいです。

五つ目は、大切な人を亡くしてしまった人たちをはげましたいです。空に大切な人を印刷し、その横などにメッセージを、印刷したりして「見ててくれているから大丈夫」と思ってほしいです。

六つ目は、ケンカをしておたがい気まずい時に、仲良く遊んでいる姿を印刷し仲直りしてほしいです。

こんな事、できるか、できないかわからない。今はまだこんな事できない。でも、何十年後、何百年後、何千年後は、こんな事できているのかもしれない。いいえ、きっとこんな事できている。私が作れたらいいなと、思うものの一つは、何年後の未来できっと、できている。私は、そう信じています。

星野美香

未来の印刷

西原 颯士郎さん 12歳

未来の印刷

西原颯士郎

ぼくは未来の印刷について、できるだけ小さくて軽い印刷機がいいとおもいます。そこでぼくは未来の印刷について、ボール型シュレッダー付きの印刷がいいとおもいます。まずシュレッダーがついていることで個人情報をまちがえて印刷してしまったらすぐにそのシュレッダーにいれてこなごなにすれば、個人情報が守れるとおもいます。次にボールでも、できるだけ小さな野球ボールやテニスボールのほうがいいとおもいます。小さなボールにすることで持ち運びが便利になるのでいいとおもいます。バレーボールなどは少し大きすぎるのであまり持ち運びはよくないです。

僕がもう一ついいとおもう印刷機は、食べられる印刷機です。たこ焼きやカレーライスが印刷機とシュレッダーです。理由は、食べ物なのでそのまま食べれるし、においがいいので食べ物がいいとおもいました。あとフルーツやケーキも香りがいいのでぼくはいいとおもいました。

次にシュレッダー付きということです。シュレッダーが付いているということは、個人情報が少しでも人に教えられないようにすぐにシュレッダーにいればすぐにバラバラになり消えるからです。

未来の印刷は、食べ物やロボットや持ち運びにはいいボールなどいろいろな未来の印刷機があればいいですね。

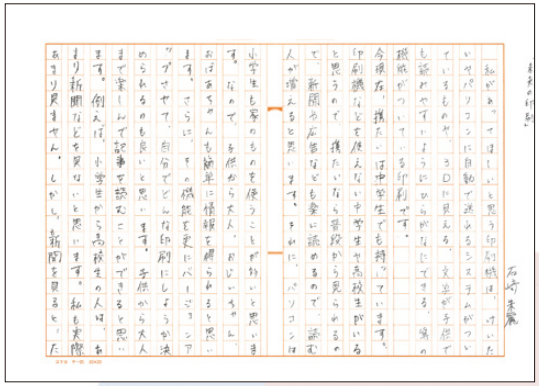
僕が思う一番の未来印刷は、風船の未来印刷です。なぜ僕がいいとおもう理由は、軽いのですぐに飛んでいけるということです。風船は少しの風ですぐに飛んでいけるところです。いらなくなったらはなせば飛んでいけるのでいいとおもいます。しかし持ち運びの場合は、一度、風船の中の空気を抜いて、また空気を入れ直すのが一番いいです。持ち運びがしづらい。手をはなすとすぐに飛んでいってしまうのが一番悪いポイントです。しかくよい所もあります。風船は軽いのであまり荷物にはならないのでぼくは風船がよいとおもいます。

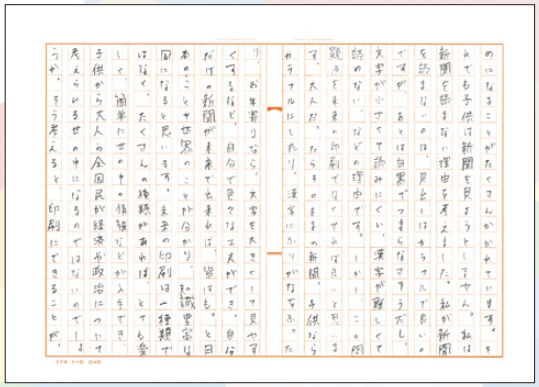
あと百年後ぐらいにはこういう「未来の印刷」が出てくるといいですね。

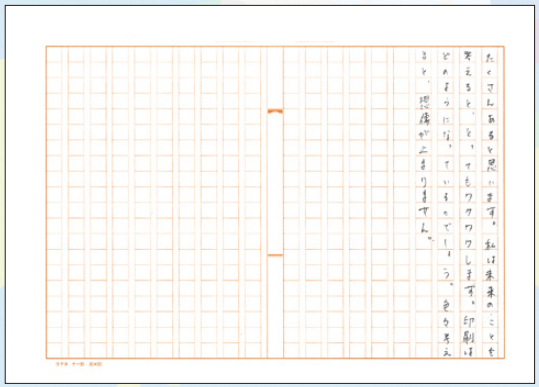
西原颯士郎

未来の印刷

石﨑　朱麗さん　12歳

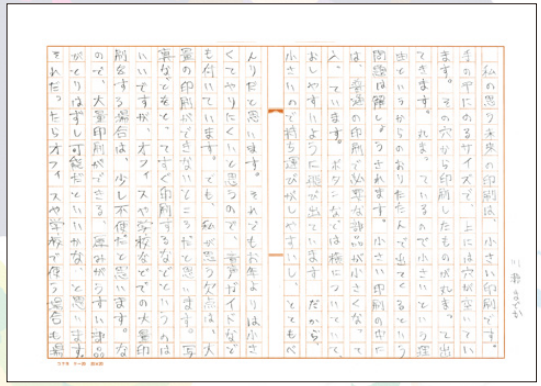


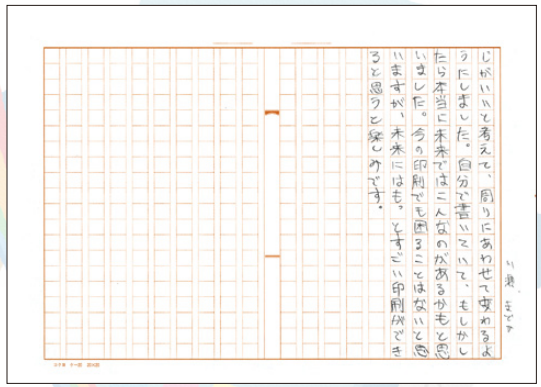




小さい印刷

川瀬 まどかさん 13歳





未来の印刷

浅野　雄斗さん　13歳

未来の印刷　浅野雄斗

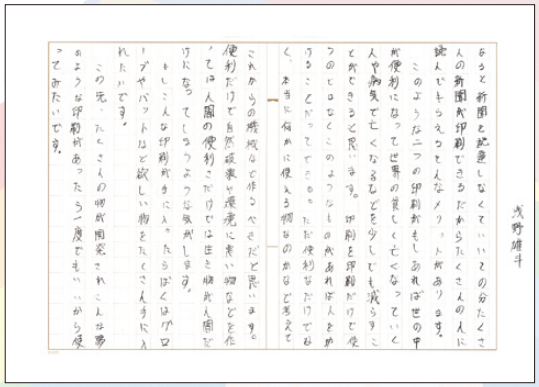
ぼくは、野球のプロ・ゴルフやゴルフなどを見ていて、すごいと思ったり、欲しい物の写真を印刷するとき、その写真のものすごくきれいな印刷があればいいなと思いました。例えば家が欲しいと思った時に、その家の写真を印刷するだけで家が買えるようなものがあったら、家を建てる人や家を建てている時間もいりません。他だけでなく、食糧や人に健康な仕事などの機器も印刷で手に入ることができたら、他の人を助けることもできるし、貧しい世界の人々が食糧不足や水不足などで困っていてもその印刷で助けを出したり食糧をたくさん手に入れることができたりたくさんの人の命が助かると思います。

その他にも、もう一つあれば便利だと思う印刷があります。それは、親戚くらいの新聞記事をしている人を見て、新聞を印刷したら将来した場所に新聞が出てきの場所へ行けるような印刷があればいいなと思いました。ようなと新聞を記事しなくていいその分たくさんの新聞が印刷できるだからたくさんの人に読んでもらえるような人メリットがあります。

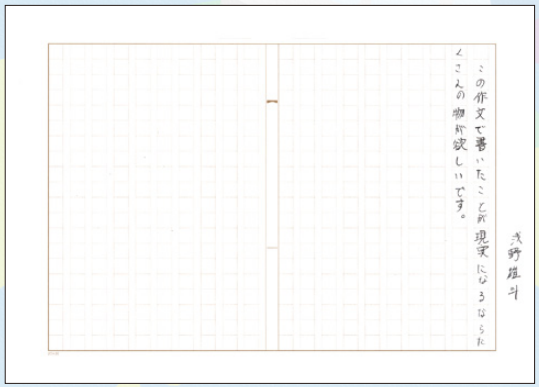
このような二つの印刷があればもしあれば世の中が便利になって世界の貧しくなくなっていく人や病気でなくなるなどを少しでも減らすことができると思います。印刷を印刷だけで使うのではなくこのようなものがあれば人を助けることができてとても。ただ便利なだけでなく、本当に何かに使える物のかなども考えてこれからの時代などを作るべきだと思います。便利だけで自然破壊や環境に悪い物などを作ってはいけない人間の便利さだけではなく時代人間だけになってしまうような気がします。

もしこんな印刷があったらぼくはぜひ一度やバットなどを欲しい物をたくさんもらえたいです。

この先、たくさんの物が開発されこんな夢のような印刷があったら一度でもいいから使ってみたいです。



浅野雄斗

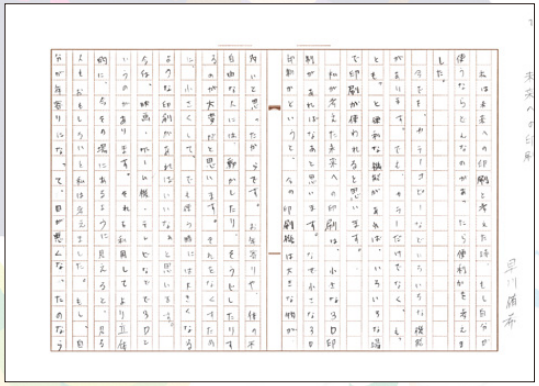


浅野雄斗

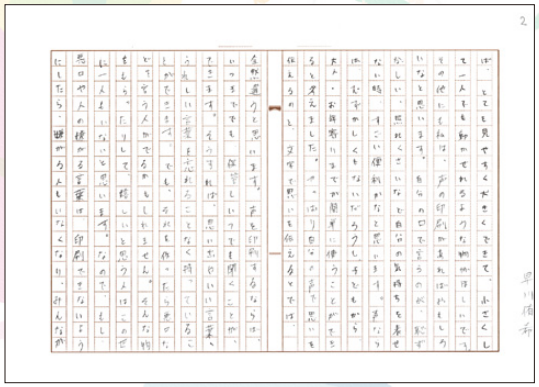
この作文で書いたことが現実になるならたくさんの物が欲しいです。

未来の印刷

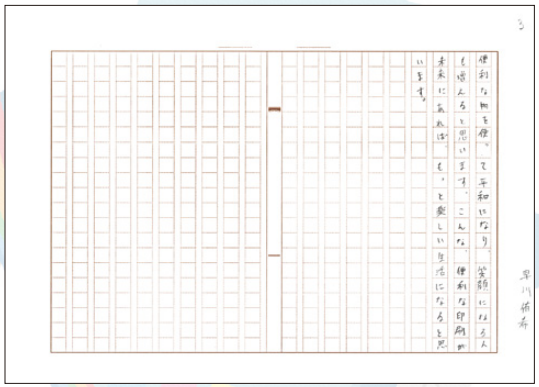
早川　侑希さん　13歳



早川侑希



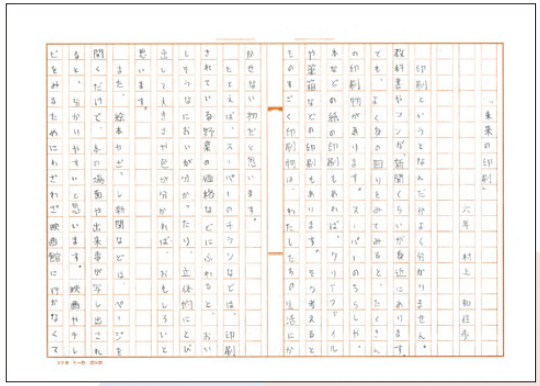
早川侑希

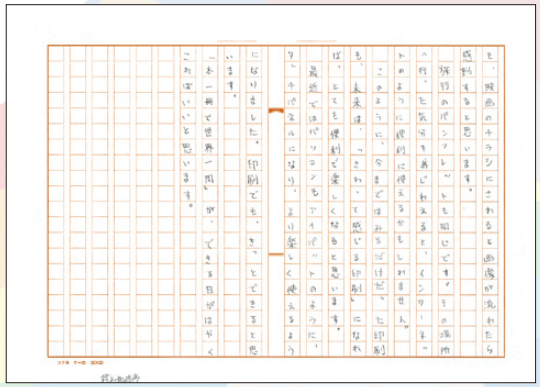


早川侑希

未来の印刷

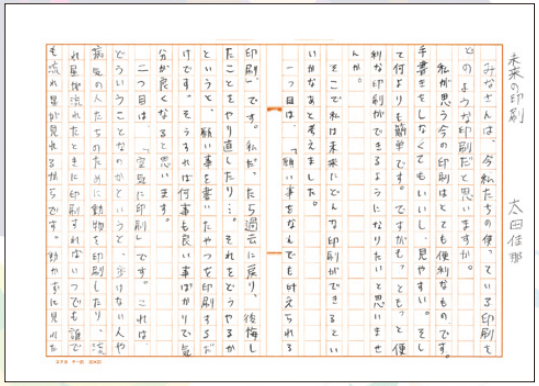
村上 和佳歩さん 12歳

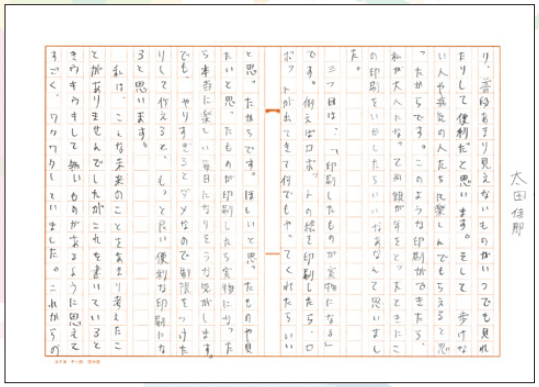


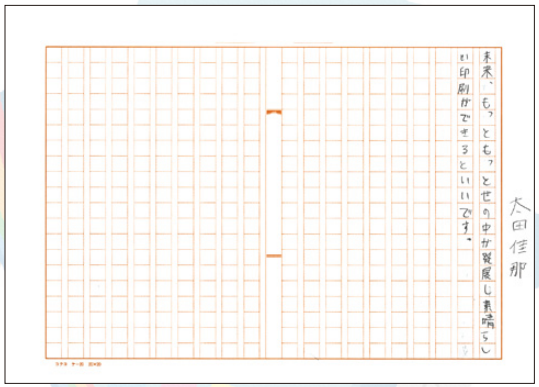


未来の印刷

太田　佳那さん　13歳





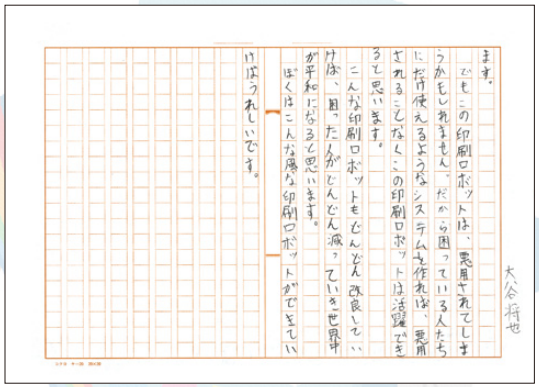


未来の印刷

太田　憲伸さん　13歳

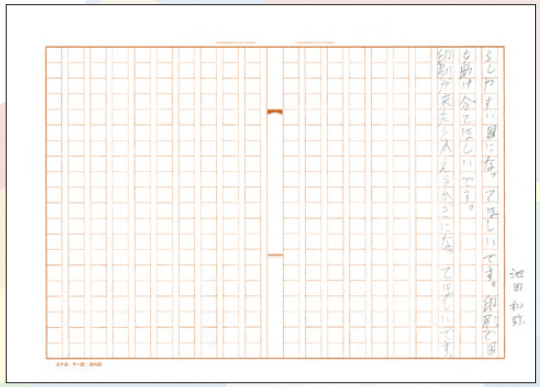
未来の印刷ロボット

大谷　将也さん　13歳



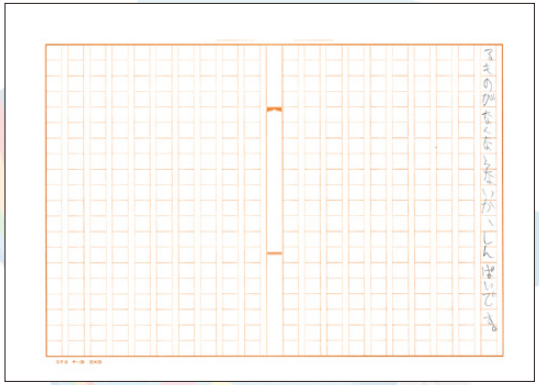
未来の印刷

池田　和弥さん　13歳



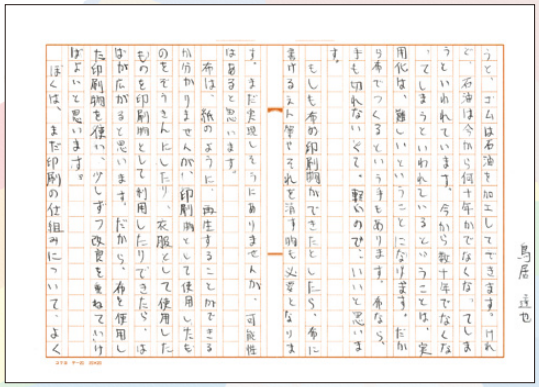
未来の印刷

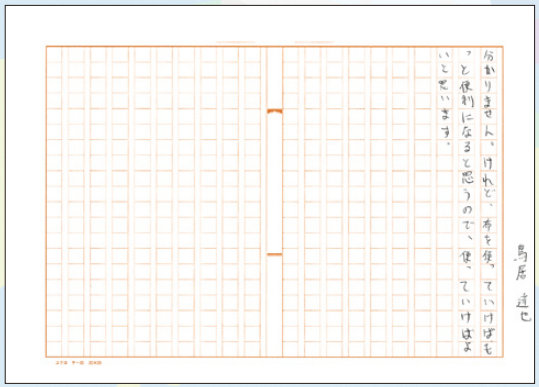
長谷　周和さん　13歳



未来の印刷

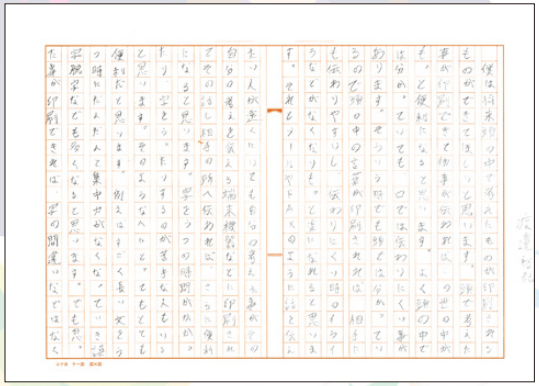
鳥居　達也さん　13歳

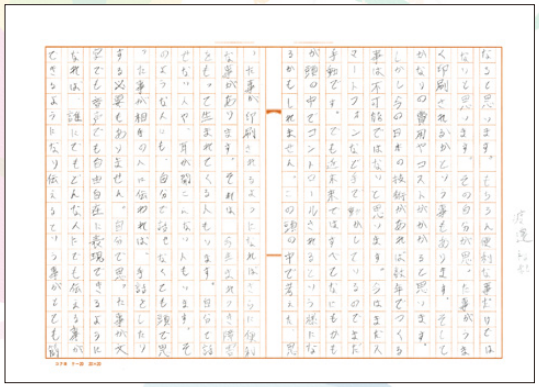


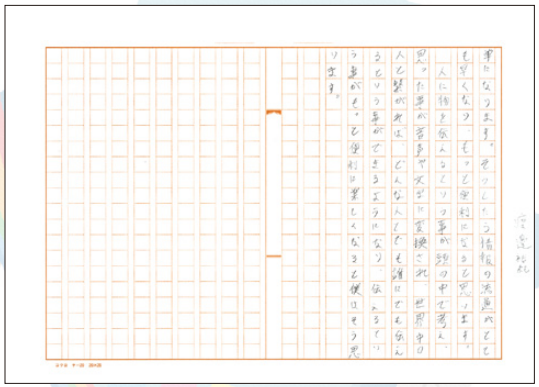


自分の思いを印刷する

渡邊　裕紀さん　13歳

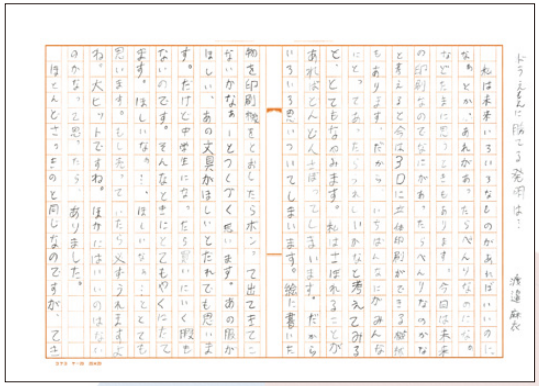


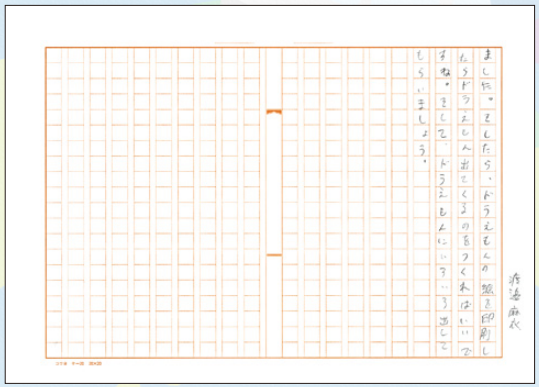




ドラえもんに勝てる発明は…

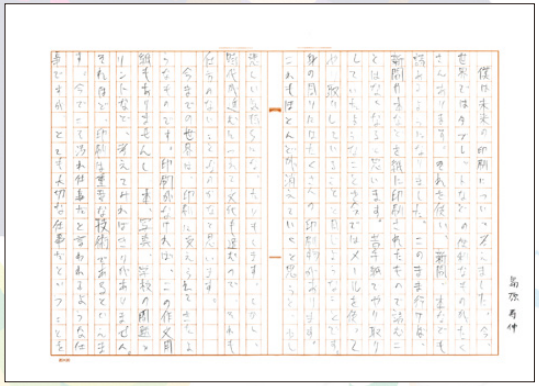
渡邉　麻衣さん　13歳

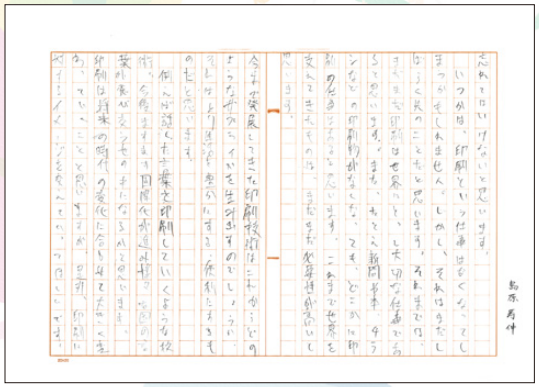




未来の印刷

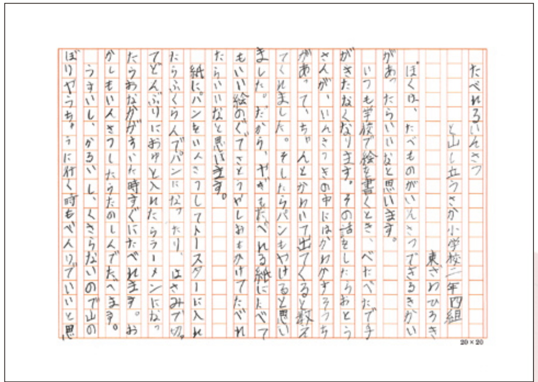
島原　寿伸さん　14歳





たべれるいんさつ

東澤　寛喜さん　8歳



たべれるいんさつ

と山し立うさか小学校二年四組

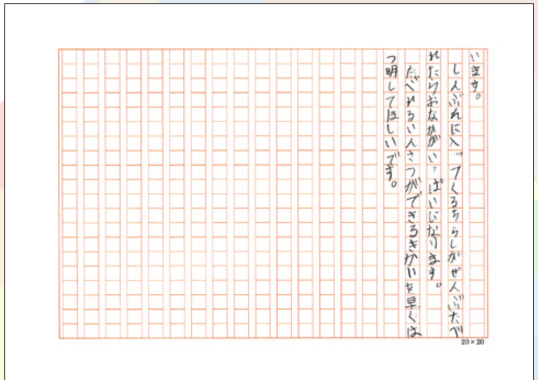
東さわひろき

ぼくは、たべものがいんさつできるきかいがあったらいいなと思います。

いつも学校で絵を書くとき、べたべたで手がきたなくなります。その話をしたらおとうさんが、いんさつきの中にはかわかすそうちがあって、ちゃんとかわいて出てくると教えてくれました。そしたらパンもやけると思いました。だから、やぎもたべれる紙にたべてもいい絵のぐでさとうやしおをかけてたべれたらいいなと思います。

紙にパンをいんさつしてトースターに入れたらふくらんでパンになったり、はさみで切ってどんぶりにおゆと入れたららーメンになったらおなかがすいた時すぐにたべれます。おかしもいんさつしたらたのしんでたべます。

うまいし、かるいし、くさらないので山のぼりやうちゅうに行く時もべんりでいいと思



います。

しんぶんに入ってくるちらしがぜんぶたべれたらおなかがいっぱいになります。

たべれるいんさつができるきかいを早くはつ明してほしいです。

世界が愛であふれますように

藤松　璃乃さん　13歳

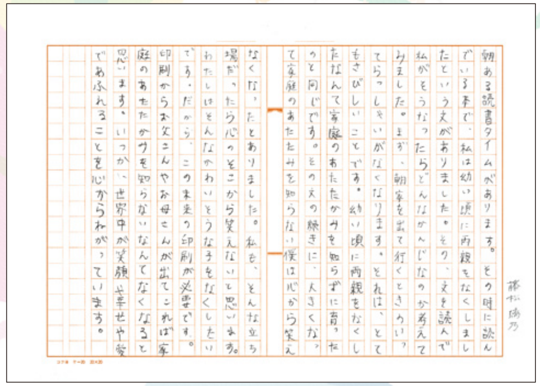
藤松璃乃

私は、印刷されたものが出てくるというものが未来にあったらいいなと思いました。

なぜなら、この世界にはまだ戦争している国があります。そんな国に住む人々に食べ物を印刷物から出して食べさせてあげ、満腹になってもらいたいです。

戦争は、武器を使って相手をきずつけます。けがをしてしまう人は、数えきれないほどいると思います。そんなとき、印刷物から治療器具やお医者さんを出せばたすかる確率は倍のように増えると思います。たすかる確率が倍になれば、悲しい思いをしなくてすむ人が増えるということです。

私は、朝学校へ行くときに行ってきますと言って家を出ます。そしたらお母さんが行ってらっしゃいと言って見送ってくれます。私にはそれが普通です。また、親に注意されてもうるさいなあと言う事を素直に聞かなかったりすることもありました。私にとっては、そんな生活があたりまえでした。ある日、毎



藤松璃乃

朝ある読書タイムがあります。その時に読んでいる本で、私は幼い頃に両親をなくしましたという文がありました。そう、文を読んで私がそうなったらどんなかんじなのか考えてみました。まず、朝家を出て行くとき「いってらっしゃい」がなくなります。それは、とてもさびしいことです。幼い頃に両親をなくしたなんて家庭のあたたかみを知らずに育ったのと同じです。その文の続きに、「大きくなって家庭のあたたかみを知らない僕は心から笑えなくな」たとありました。私も、そんな立場だったら心のそこから笑えないと思います。わたしはそんなかわいそうな子をなくしたいです。だから、この未来の印刷が必要です。印刷からお父さんやお母さんが出てこれば家庭のあたたかみを知らないなんてなくなると思います。いつかは、世界中が笑顔や幸せや愛であふれることを心からねがっています。

未来の印刷

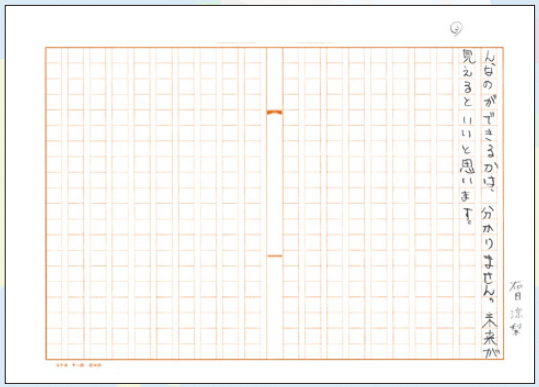
布目　涼梨さん　13歳

布目涼梨

私は、今と昔では、印刷機が全然違うと思います。昔は、白黒だし、時間が今よりもかかると思います。昔はかなり時間がかかると思います。今は機械を作るのもかんたんだけど昔は簡単にはうまくいかなかったと思います。今は、簡単になにもかもできる時代です。昔は、生活だけで大切だからもしかすると印刷機もなかったかもしれません。今でも、白黒はとてもやすくにたっています。ですが全部が全部白黒でもさみしいし、見にくいからかもしれませんがカラーができたのかもしれません。カラーはとても見やすいし、細かいところでも見やすいです。白黒は、見えるといえば見えるけど見にくいです。白黒は、インクをあまり使いません。カラーは、インクをよく使うからもくインクがなくなります。後、昔と今では印刷がすき終わる時間が違うと思います。昔は、とても時間がかかる

布目涼梨

ると思います。今は、結構早くできると思います。そして、今からは、現代と未来を考えたいです。現代はカラーと白黒が両方使えます。そして昔よりは、印刷が終わる時間がかなりへったと思います。今では一瞬で時間がかかるかもしれませんが、電源がついていればそんなに時間はかからないと思います。次は、未来を考えたいと思います。今は、カラーと白黒ですが未来は、3Dもいいかもしれません。3D+動くもいいかもしれません。3Dだと印刷という感じは、確かにしませんがその今しないものを変えるのが未来なかんじもします。印刷で動くっていうのがなかなかそうぞうできません。ですが、3Dや動く印刷ができたらとても便利や印刷にもがちがあると思います。みんなが印刷をしていい気持ちをなにげない笑顔が見れるといいと思います。印刷の3Dができたら、もう3Dは印刷ではないかもしれません。みんなが未来のそうぞうは、できるけどいっさいど

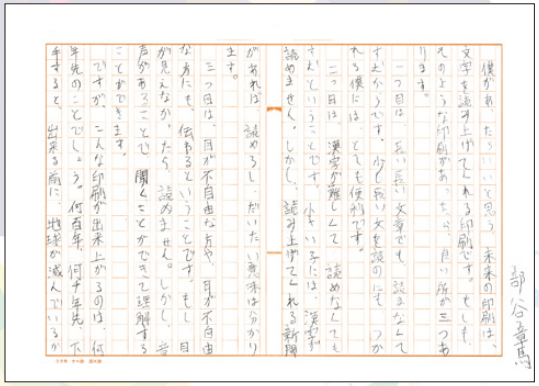


布目涼梨

人なのができるかは、分かりません。未来が見えると、いいと思います。

未来の印刷

部谷　章馬さん　12歳



部谷章馬

僕が思ったらいいと思う、未来の印刷は、文字を読み上げてくれる印刷です。もしも、そのような印刷があったら、良い所が三つあります。

一つ目は、長い長い文章でも、読まなくてすむからです。少しでも、長い文を読のにて、つかれる僕には、とても便利です。

二つ目は、漢字が難しくて、読めなくても、すむということです。小さい子には、漢字が読めません。しかし、読み上げてくれる新聞があれば、読めるし、だいたい、意味はわかります。

三つ目は、目が不自由な方や、耳が不自由な方にも、伝わるということです。もし、目が見えなかったら、読めません。しかし、音声があることで、聞くことができて理解することができます。

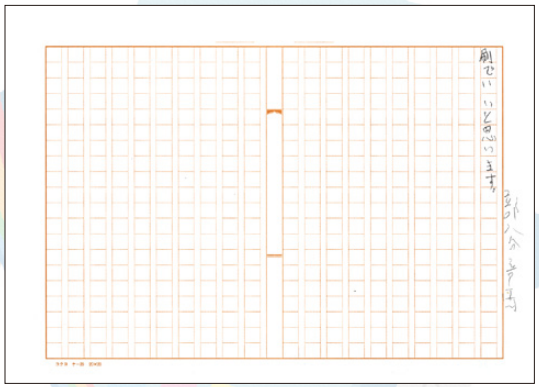
ですが、こんな印刷が出来上がるのは、何年先のことでしょう。何百年、何千年先、下手すると、出来る前に、地球が滅んでいるかもしれません。印刷が便利になったからといって、大きな問題ではありません。今だって、カラー印刷です。今ある印刷でも、見分やすいです。

未来の印刷は、自分、なんなくなります。今、工業化が進んでいるのに、スマートフォンやタブレット、また、変わっていくと思います。手入れやメンテナンスは、別ですが。また、また、もし印刷がなくなったら、印刷の仕事をしている人たちは、困ります。今の印刷機は、古いのに、なくなってしまうのか、困ります。だから、印刷するのが、楽になるように、でも、使用法を、考えるのも、楽しいと思うからです。

僕は、やっぱり、よの良い所と、印刷の良い所は、まさりがしっかりは、画像がきれいです。印刷は、持ちはこぶのが便利です。やっぱりいえば、や、ぱり、今の印刷のままがいいです。また、印刷は、その時代や、その時代に、人々、物の為になったよ、と、変わっていくと思うので、未来の印刷は、その時代に適応した印

部谷章馬

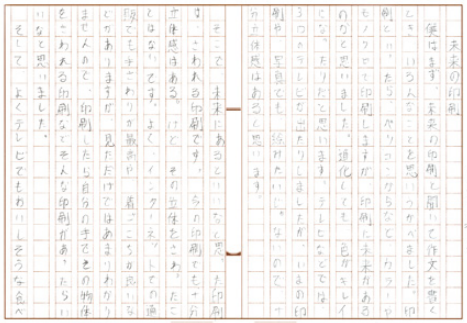
刷でいいと思います。



部谷章馬

未来の印刷

服部　義久さん　13歳



未来の印刷

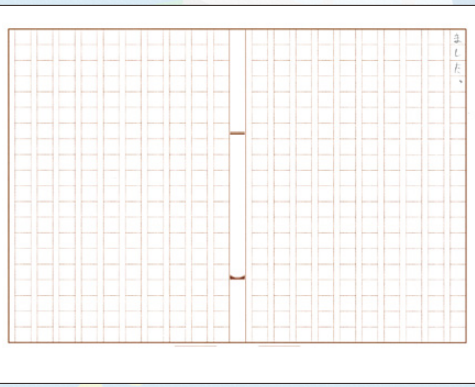
僕は、まず、未来の印刷と聞いて作文を書くとき、いろんなことを思いつかべました。印刷というとたいていクラスでクラブやもノラで印刷します。印刷した未来があるのかなと思いました。進化しても、良かキレイになる。たりたと思います。まずはたくさんでなるつのようしたりしました。いまの印刷や、写真でも、絵がいたいと。なのでなかなか立体感はあると思います。

そこで、未来にあるといいなと思った印刷は、さわれる印刷です。今の印刷でもさわれる立体感はあるけど、その立体をさわったことはないです。よくインクがえんぴつの画面でもキズがつくのが嫌だなと思います。

服部義久

物があります。ついついきを出して駆けたくなります。なのでそのさわれる印刷が有ったらそれを利用して、本当にほしいものは湯でさわ。でいた物を買うような印刷もできるとと便利だし、ほしいときにすぐ買えます。だから僕はこんな印刷があるといいなと思いました。

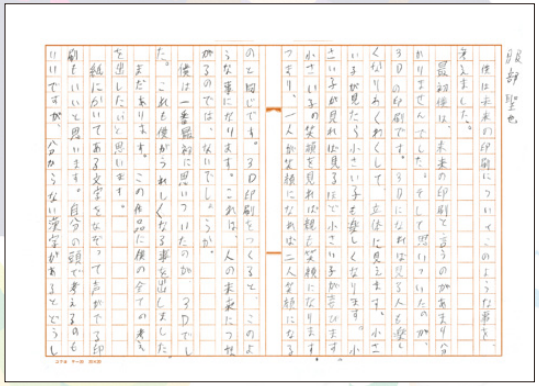
これからさき、まだ、この印刷方れ来るかわかりません。だとしてもいつ何十年何百年さきかもしれません。けど、毎年、新しい機械が発明されてります。なので、この未来の印刷の夢は、今も夢かもし大きません。ですが何十年かの未来、進化したらこれは夢じゃなくなります。そして何十年かの未来できた新しい機械が進化するので機械はどんどん発明されていきます。なので未来の印刷も、昔と比べると今は未来なので今の印刷も未来にあたるので、それもまた未来の印刷として十分このままでいいと思いました。



ました。

みんなにうれしい印刷

服部　聖也さん　13歳



服部聖也

僕は未来の印刷について、このような事を考えました。

最初は、未来の印刷で言うのが集まりかりすぎでんでした。そして思いついたのが、3Dの印刷です。3Dになれば見る人を楽しくなりあくおくして、立体に見えます。小さいまが見たらく小さいい子も楽しくなります。小さいいまの家族を見れば親子家族になります。小さいいまの家族を見れば親子家族になります。つまり、一人が家族になれば二人家族になるのと同じです。3D印刷をつくると、このような事になります。これは、一人の未来につながるのでは、ないでしょうか。

僕は一番最初に思いついたのが、3Dでした。これも僕がうれしくなる事を出しました。まだ、あります。この作品は僕の全ての考えを出したいと思います。

一枚にかいてある文字をなぞってあなたが、3D印刷をいいと思います。自分の頭で考えるものもいいですが、分からない漢字があるとでうしも漢字がはかどりません。そして、当みません。考えました。

服部聖也

色彩がはかどりません。そして、当みません。考えました。

最初は、未来の印刷で言うのが集まりかりすぎでんでした。そして思いついたのが、3Dの印刷です。3Dになれば見る人を楽しくなりあくおくして、立体に見えます。小さいまが見たらく小さいい子も楽しくなります。小さいいまの家族を見れば親子家族になります。つまり、一人が家族になれば二人家族になるのと同じです。3D印刷をつくると、このような事になります。これは、一人の未来につながるのでは、ないでしょうか。

僕は一番最初に思いついたのが、3Dでした。これも僕がうれしくなる事を出しました。まだ、あります。この作品は僕の全ての考えを出したいと思います。

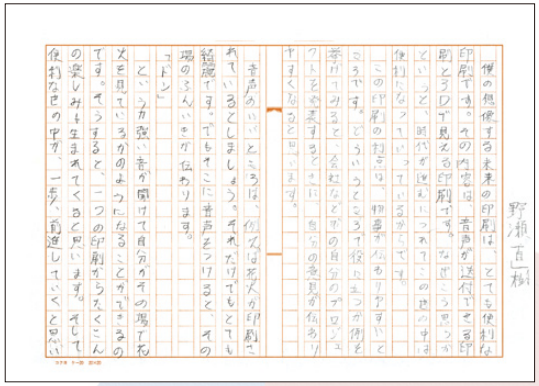
一枚にかいてある文字をなぞってあなたが、3D印刷をいいと思います。自分の頭で考えるものもいいですが、分からない漢字があるとでうしも漢字がはかどりません。そして、当みません。考えました。

かかると思います。面をかけるだけで人の読む気をすぐを上げるのはいいと思います。意でいんしょうが変わったり、流れを変えているので読みやすくなったりまると思います。このような印刷でもいいと思いました。

僕は、常識にとらわれないようにがんばってもえました。僕はこんなにも印刷の種類がたくさんくるとは、自分でもビックリしました。この経験はいい経験になると思います。

音声と3D

野瀬　直樹さん　13歳



野瀬 直樹

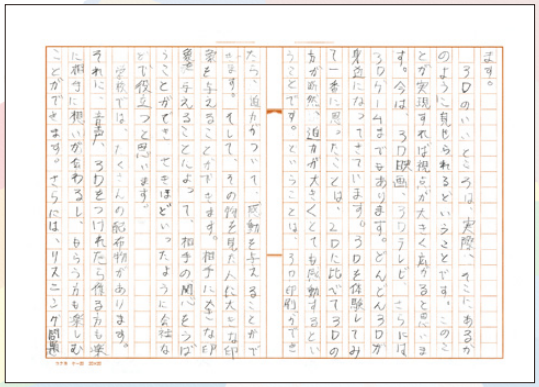
便利な想像する未来の印刷は、とても便利な印刷です。その秘密は、音声が送信できる印刷とうD で見える印刷です。なぜこう思うかといえば、時代が進むにつれてこの世の中は便利になっていっているからです。

この印刷の利点は、物事がわかりやすいことです。ていうこうとうで役に立つ例を挙げてみると、会社などでの自分のプロジェクトを発表するときに、自分の意見が伝わりやすくなると思います。

音声のいいところは、例えば花火の印刷にあれているとしましょう。それだけでもとても綺麗です。でもそこに音声をつけると、その場のよういきが伝わります。

ゴトゴトゴトン

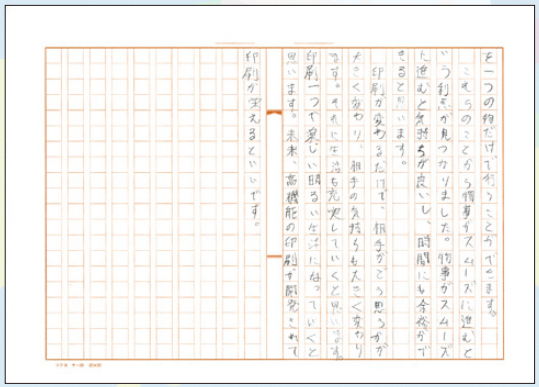
という力強い音が聞けて自分もその場にいる気分になることができるのです。そうすると、一つの印刷からたくさんの楽しみも生まれてくると思います。そして便利なこの中、一歩、前進していくと思います。



ばす。

3Dのいいところは、実際にそこにあるかのように見せられるということです。このことが実現すれば視点が大きく変化すると思います。今は、3D映画、3Dテレビなどから4Dまでもあります。どんどん3Dが身近になってきています。3Dを体験してみて一番に思ったことは、2Dに比べて3Dの力が断然、迫力が大きくなってもの感動するということです。ということは、3D印刷ができたら、迫力がついて、感動を与えることができます。そして、その物を見た人に大きな印象を与えることができます。相手に大きな印象を与えることによって、相手の関心をひくということができ、できぼどいったように会社などで役立つと思います。

学校では、たくさんの記念物があります。それに、音声、3Dをつけた方に渡る方も楽に相手に想いが伝わるし、もらう方も楽しむことができます。さらには、リアスニンケ観光



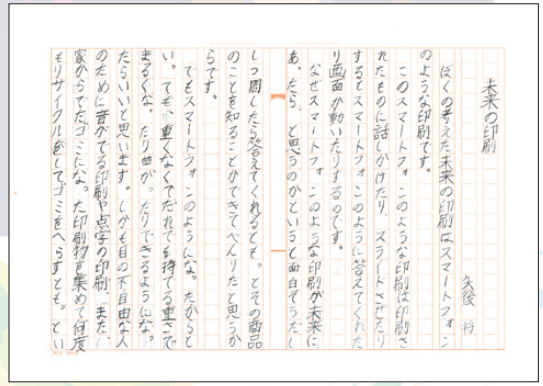
を一つの物だけで済むことができます。

これらのことから得意なスムーズに進むという利点が見つかりました。物事がスムーズに進むと多数が良いし、時間にも余裕ができると思います。

印刷が変わるだけで、相手方とも思うが大きく変わり、相手の気持ちも大きく変わります。それに生活も充実していくと思いますが、印刷一つで楽しい明るい生活になっていくと思います。未来、高機能の印刷が開発されて印刷が変えるといいです。

未来の印刷

矢後　将さん　10歳



未来の印刷

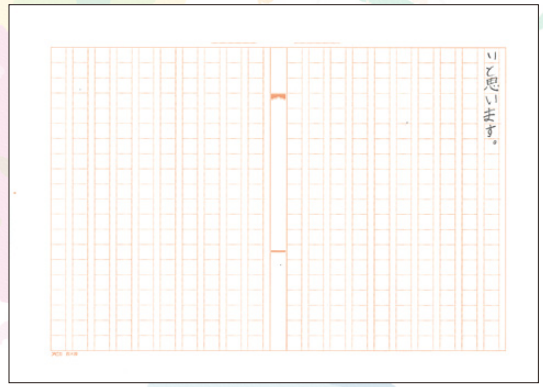
矢後 将

ぼくの考えた未来の印刷はスマートフォンのような印刷です。

このスマートフォンのような印刷は印刷されたものに話しかけたり、スライドさせたりするとスマートフォンのように答えてくれたり画面が動いたりするのです。

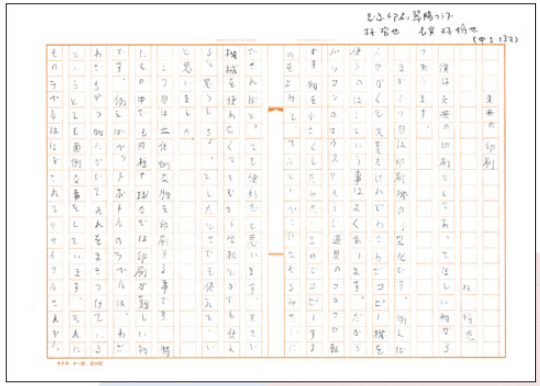
なぜスマートフォンのような印刷が未来にあったら、と思うのかというと面白そうだしっ周したら答えてくれることも、とその商品のことを知ることができてべんりだと思うからです。

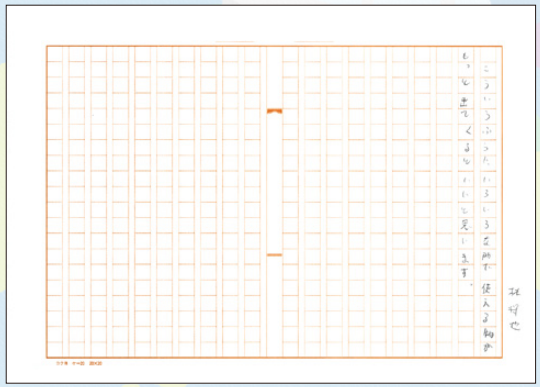
でもスマートフォンのようなんな。だからという。でも、重くなくてだれでも持てる重さでまるくな。たり曲がったりできるようになったらいいと思います。しかも目の不自由な人のために音かでる印刷や点字の印刷、また、家からでたごこたな。た印刷物を集めて何度もリサイクルをしてゴミをへらすとも。という思います。



未来の印刷

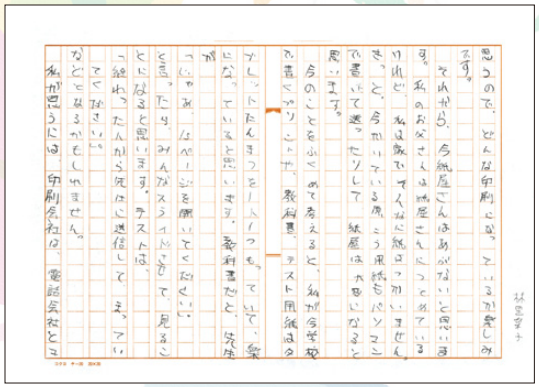
林　将也さん　13歳

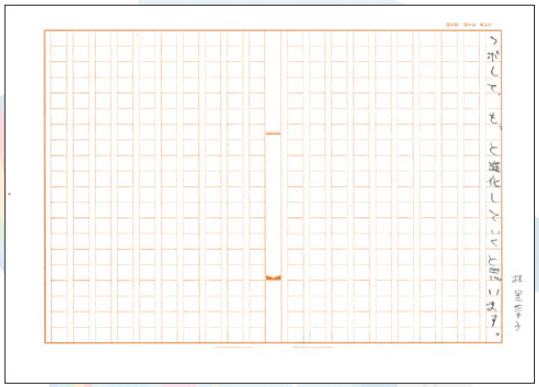




未来の印刷について

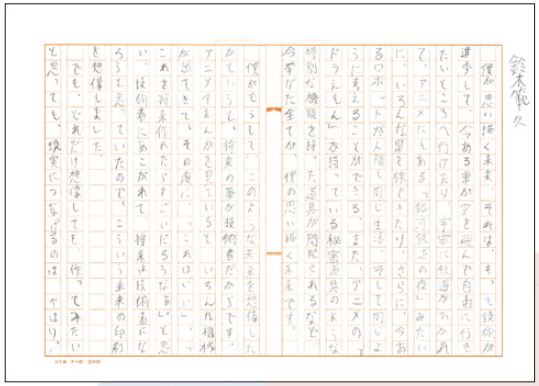
林　里菜子さん　11歳





思い描く未来

鈴木　範久さん　13歳

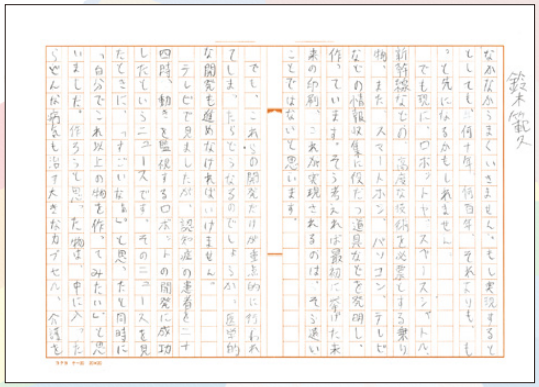


鈴木範久

僕が思い描く未来、可能性、そして技術が進歩して、今ある事が空を飛んで自由に行きたいところへ行けたり、宇宙に旅行できたり、アニメにもある、銀河鉄道の夜にみたいに、いろんな惑星を旅できたり、さらに、今あるロボットがみんな違って同じ様に、そして同じように考えることができる、また、アニメの、ドラえもん、が持っている秘密道具のような特別な機能を持った道具が開発されるなど、今考えた全てが、僕の思い描く未来です。

僕がもうひとつ、このような未来を想像したかっていうと、将来の夢が技術者だからです。アニメ作家さんが、見ていらっしゃいますように、いちんん機械が出てきて、その度に、「これはいい」、「これを将来作れたらすごいだろうな」と思い、技術者にあこがれて、将来は技術者になろうと思っていたので、こういう未来の印象を想像しました。

でも、でも、だけ想像しても、作ってみたいと思っても、現実につなげるのは、やはり、



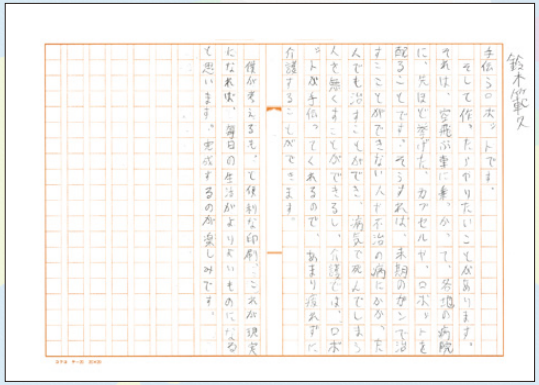
鈴木範久

なかなかうまくいきませんでしたし、実現するとしても、何十年、何百年、それよりも、もっと先になるかもしれません。

でも見たい、ロボットや、スペースシャトル、新幹線などの、高度な技術を必要とする乗り物、また、スマートホン、パソコン、テレビなどの情報収集に役立つ道具などを発明し、作っています。そう考えれば最初に挙げた未来の印刷、これが実現されるのは、そう遠いことではないと思います。

でも、これらの開発だけが重点的に行われてしまったらどうなるのでしょうか。医学的な開発も進めなければいけませんね。

テレビで見ましたが、認知症の患者さんが四時間、動きを監視するロボットの開発に成功したというニュースです。その、ニュースを見たときに、「すごいなあ」と思ったと同時に、「自分でこれ以上の物を作ってみたい」と思いました。作ろうと思った物は、中に入ったらどんな病気も治す大きな力タセル、介護を



鈴木範久

手伝うロボットです。

そして、作ってみたいことが、あります。それは、宇宙飛行士に、なって、惑星の病院に、先ほど挙げた、カプセルや、ロボットを配ることができ、そうすれば、未開の地で、まだ、ことが、できない人が不治の病にかかったとしても、まだ、病気で死んでしまう人を無くすことができるし、介護では、ロボットが手伝ってくれるので、あまり疲れずに介護することができます。

僕が考えるまでもなく、理想的な印刷、これが現実になれば、毎日の生活がよりよいものになると思います。「実成するのが楽しみです。」